

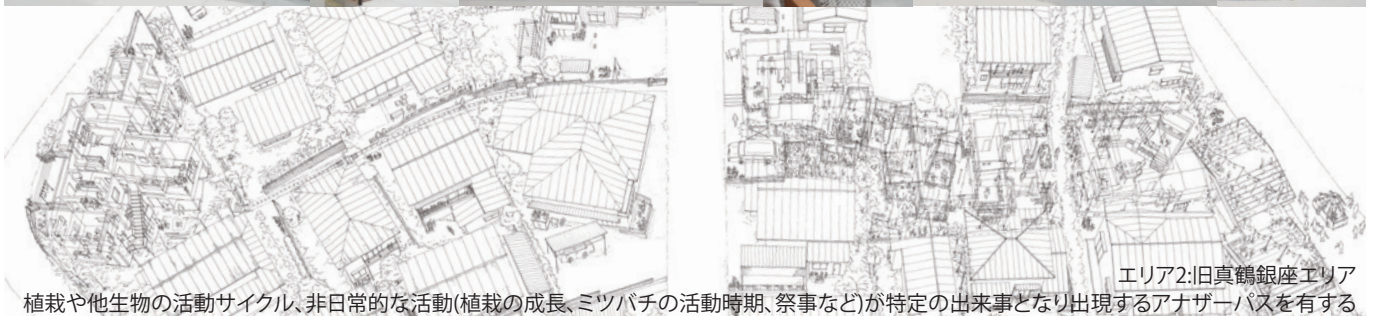
アナザーパスを有する建築 神奈川県足柄下郡真鶴町を対象として

山家研究室 三浦悠介

研究概要：常時通れるわけではないが、特定の出来事によって街を地続きにしている空間を「アナザーパス」と称し、真鶴町を対象としたアナザーパスを有する建築の提案である。

研究目的：建築がアナザーパスを有している場合もあり、有する際の工夫が形態に影響を及ぼしていると考えられるが、有した建築の形態、用途や機能、公私の領域は画一的となっている。そこで、有する際の空間可能性とアナザーパスの存在による地域構造の在り方について追求することを目的とする。

研究成果



苦労した点や感想など：

敷地ごとにプログラムが異なるため、最低限必要な機能や寸法体系を色々扱うのに苦労しました。また、出来事と連動する形のアイデアを建築空間へすり合わせていくのには神経を使いました。